

戦略 1 攻めの「やまなし」成長戦略

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	1	やまなしを牽引する産業の育成	計画掲載施策数	8
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>世界的に進んでいる第4次産業革命は、これまでのものづくりの方法を大きく変え、産業構造やさらには社会構造を変革していくとされています。そのため、本県の基幹産業である機械電子産業の優れた技術の蓄積を生かしながら、新たな技術等を取り入れ、今後も成長が期待されている医療や健康に関連した産業や、次世代のエネルギーに関連した産業などを育成するとともに、起業の促進を図ります。</p> <p>また、成長が見込まれるアジア諸国や日本における成長の中心である東京と、中部横断自動車道やリニア中央新幹線により、大幅に時間距離が短縮し、物流環境をはじめ、ヒトやモノが迅速に移動可能となる環境が整備されるメリット、観光資源としての富士山の優位性などを最大限活用して民間資本の誘致などを進めるとともに、オリンピック・パラリンピックの開催を起爆剤とした県内産業の活性化やデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進などにより、次代を担う産業の育成を図ります。</p>				
令和4年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 医療機器関連産業の集積		P.3	産業労働部
	○ 水素・燃料電池関連産業の集積		P.3	産業労働部
	○ 企業立地の促進		P.3	産業労働部
	○ リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進		P.4	知事政策局 外
	○ 起業（創業）支援の充実・強化		P.4	産業労働部
	○ 東京オリンピック・パラリンピックへの対応		P.5	観光文化・スポーツ部
	○ スポーツによる地域振興（東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用）		P.5	観光文化・スポーツ部
○ デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進		P.5	知事政策局 外	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		9,370 百万円	
	前年度までの事業費		7,482 百万円	
	本年度の事業費		1,888 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名	(成果指標担当部局名)			
	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
成果指標の達成状況	1-1-1 医療機器関連産業の集積	(産業労働部)			
	医療機器関連分野への参入企業数	61社 (H30)	100社 (R 4)	146社 (R 4)	217.9
	1-1-2 水素・燃料電池関連産業の集積	(産業労働部)			
	水素・燃料電池関連分野への参入企業数	50社 (H30)	70社 (R 4)	81社 (R 4)	155.0
	1-1-3 企業立地の促進	(産業労働部)			
	地域未来投資促進法(ものづくり、物流等)に基づく事業者の立地計画の承認件数	33件 (H29 - 30累計)	39件 (R1 - 4累計)	38件 (R1 - 4累計)	83.3
	1-1-5 起業(創業)支援の充実・強化	(産業労働部)			
	県支援による起業	63件/年 (H30)	80件/年 (R 4)	236件/年 (R 4)	1,017.6
	1-1-8 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	(知事政策局)			
	DXに資する実証実験等の累積事業数	—	5件 (R 4)	5件 (R 4)	100.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
医療機器関連産業の集積 【成長産業推進課】 ①	商工総務費 (82,093) 80,223 ①	医療機器関連産業の集積を促進するため、専門支援組織のメディカル・デバイス・コリドー推進センターを設置し、中小企業等の医療機器関連分野への進出を支援した。 これにより、医療機器関連産業への参入企業の増加に寄与した。 ①医療機器関連分野への参入企業数 146社
水素・燃料電池関連産業の集積 【成長産業推進課】 ①②	企業立地対策費 (127,571) 118,327 ①②	2050年カーボンニュートラル実現に向け成長が期待される水素・燃料電池関連産業の進展を図るため、山梨大学などと連携して中小企業等の本産業への進出を支援するとともに、先端的な評価・研究を推進した。 これにより、水素・燃料電池関連分野への参入企業の増加や評価・研究の進展に寄与した。 ①水素・燃料電池関連分野への参入企業数 81社 ②産業技術センターにおける評価事業の実施
企業立地の促進 【成長産業推進課】 ①②③	企業立地対策費 (786,479) 645,766 [132,475] ①②③	雇用の確保や県内経済の活性化を図るため、工業団地の整備を行う市町村等を支援するとともに、各種の支援制度や法令等に基づく税制優遇等により、本県への企業立地や事業の拡大を促進した。 これにより、県内への製造業等の企業立地が進み、雇用の確保や県内経済の活性化が図られた。 ①市町村等の工業団地整備への支援 3件 ②産業集積促進助成金による立地企業に対する支援 8件 ③地域未来投資促進法(ものづくり、物流等)に基づく事業者の立地計画の承認件数 9件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進 【リニア未来創造・推進グループ】 ① 【リニア整備推進室】 ③⑤ 【防災危機管理課】 ② 【道路整備課】 ④⑤ 【高速道路推進課】 ⑥	企画総務費 (353,600) 284,670 [44,937] ①③⑤ 道路橋りょう建設費 (528,771) 411,111 [117,660] ④ 道路橋りょう整備費 (61,561) 59,516 [2,045] ⑤	リニア開業を契機に県内経済の活性化を図るため、令和2年3月に策定したリニアやまなしビジョンに基づき、テストベッドの聖地化に向けた取り組みやリニア駅北側の整備などについて検討を進めた。 また、建設工事を予定どおり進めるため、計画的に用地取得を進めた。 これにより、リニア中央新幹線開業に向けた取り組みの推進に寄与した。 ①最先端技術を活用した実証実験の支援 13件 ②防災バックアップサポートデスクの運用・周知 ③リニア中央新幹線に係る用地を約7割取得 ④リニア駅アクセス道路の一部工事着手 ⑤リニア駅北側交通結節点のゾーニング・レイアウト案の作成 ⑥(仮称)甲府中央スマートICの整備促進
起業(創業)支援の充実・強化 【スタートアップ・経営支援課】 ①②③④ 【産業振興課】 ⑤	商工総務費 (38,897) 33,060 ①②③④ 金融対策費 (300,000) 204,792 ⑤	本県における起業(創業)を促進し、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における二拠点居住や移住にもつなげるため、機運の醸成やノウハウの提供、資金面の支援を行うとともに、産学官金連携による支援体制を強化した。 これにより、更なる起業(創業)支援の充実・強化に寄与した。 ①高校生向けビジネスアイデアコンテスト参加 8校48人 ②ビジネスプランコンペ参加 24組40人 ③起業支援金支給 10件 ④やまなし創業チャレンジ応援事業費補助金交付 32件 ⑤商工業振興資金起業家支援融資の利用 172件

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
東京オリンピック・パラリンピックへの対応 【スポーツ振興課】	———	東京2020オリンピック自転車競技ロードレースの開催や、オリンピック・パラリンピック聖火リレー等の円滑な実施により、本県の魅力を世界へ向けて情報発信した。(令和3年度に実施。)
スポーツによる地域振興 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用) 【スポーツ振興課】 ①②③	企画総務費 (42,074) 40,492 ①②	東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーを活用し、スポーツによる地域振興を図るため、スポーツ成長産業化戦略の推進に取り組んだ。 これにより、大会会場地及び合宿地としての本県の認知度やステイタスの向上に寄与した。 ①やまなしスポーツエンジンの設立 令和4年4月 ②スポーツイベントの開催 2回 ③新しいスポーツによるスポーツ参加 4団体
デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 【DX推進グループ】 ①② 【情報政策課】	情報管理費 (13,445) 9,189 ①②	DXに資する実証事業等に取り組むとともに、山梨県デジタルトランスフォーメーション推進計画に記載された事業により、産業、暮らし、行政の3つのDXを推進した。 これにより、ICTの利活用や蓄積されたデータの有効活用による社会全体の変革の促進に寄与した。 ①DXに資する実証事業等の実施 1件 ②DX・アドバイザー・ボードの開催 1回

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	2	観光産業の振興	計画掲載施策数	19
<p>【政策の基本的な考え方】 本県には、世界遺産である富士山をはじめ、御嶽昇仙峡など4つの日本遺産や、身延山等の歴史的な文化資産や歴史的建造物、地元特産の食材や料理、県内各地にある温泉といった観光資源が豊富にあります。観光消費額の拡大に向けては、観光産業の更なる高付加価値化に努めるとともに、安心と信頼を本県観光の新たな付加価値とするための取り組みも必要です。そのため、感染症に強い観光地づくりを進めるとともに、これまであまり活用されなかった文化芸術資源をはじめとする山梨の強みを生かした地域資源の磨き上げや、最先端技術の利活用・他分野との連携等による付加価値の高いサービスの創出に努めることで、観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」を向上させるとともに、コト消費・トキ消費に対応した観光推進、観光M a a Sの整備、さらには今後回復が期待されるインバウンド観光客の受け入れ環境の強化にも取り組んでいきます。</p>				
令和4年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 受入環境の整備		P. 9	観光文化・スポーツ部 外
	○ 地域資源の活用		P. 10	観光文化・スポーツ部
	○ 魅力が伝わる情報発信		P. 11	観光文化・スポーツ部 外
	○ 観光産業の生産性向上等の推進		P. 12	観光文化・スポーツ部
	○ 地域経済を支える観光の再生と新たな展開への支援		P. 12	観光文化・スポーツ部
	○ 観光DXの推進		P. 13	観光文化・スポーツ部
	○ 観光振興を通じた県内経済活性化（東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用）		P. 13	観光文化・スポーツ部
	○ サイクル王国やまなしの実現		P. 14	県土整備部 外
	○ 南アルプス観光の促進		P. 15	観光文化・スポーツ部 外
	○ 「ワイン県」宣言を活用した観光振興		P. 16	観光文化・スポーツ部
	○ 世界文化遺産富士山の普及啓発		P. 16	観光文化・スポーツ部
	○ 富士山の安全対策の実施		P. 17	観光文化・スポーツ部 外
	○ 登山の安全の確保		P. 17	観光文化・スポーツ部 外
	○ 伝統的観光地の再活性化		P. 18	観光文化・スポーツ部
	○ 文化観光の推進		P. 18	観光文化・スポーツ部
	○ 森林の保健休養機能の活用		P. 19	林 政 部
	○ 地域資源を活用した農泊の推進		P. 19	農 政 部
	○ 農業遺産の活用による農業振興		P. 20	農 政 部
○ インフラの価値や魅力の情報発信		P. 20	県 土 整 備 部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		27,882 百万円	
	前年度までの事業費		13,549 百万円	
	本年度の事業費		14,333 百万円	

成果指標	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)	
	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
1-2-1 受入環境の整備	(観光文化・スポーツ部)			
観光客満足度	41% (H30)	50% (R 4)	49.2% (R4 速報値)	91.1
1-2-2 地域資源の活用	(観光文化・スポーツ部)			
1-2-5 地域経済を支える観光の再生と新たな展開への支援	(観光文化・スポーツ部)			
1-2-10 「ワイン県」宣言を活用した観光振興	(観光文化・スポーツ部)			
観光客一人あたり平均消費額	10,616 円 (H30)	12,000 円 (R 4)	11,067 円 (R4 速報値)	32.6
1-2-2 地域資源の活用	(観光文化・スポーツ部)			
1-2-5 地域経済を支える観光の再生と新たな展開への支援	(観光文化・スポーツ部)			
延べ宿泊者数	861 万人 (H30)	970 万人 (R 4)	687 万人 (R4 速報値)	△ 159.6
1-2-3 魅力が伝わる情報発信	(観光文化・スポーツ部)			
富士の国やまなし観光ネットアクセス数	944 万 PV (H30)	1,200 万 PV (R 4)	1,106 万 PV (R 4)	63.3
1-2-4 観光産業の生産性向上等の推進	(観光文化・スポーツ部)			
観光消費額	4,001 億円 (H30)	4,500 億円 (R 4)	2,955 億円 (R4 速報値)	△ 209.6
宿泊業・飲食サービス業従業者一人あたりの付加価値額	223 万円 (H30)	260 万円 (R 4)	170 万円 (R 3)	△ 143.2
1-2-11 世界文化遺産富士山の普及啓発	(観光文化・スポーツ部)			
世界遺産センター（北館＋南館）入館者数	50 万人 / 年 (H30)	71 万人 / 年 (R 4)	268,794 人 (R 4)	△ 110.1
1-2-12 富士山の安全対策の実施	(観光文化・スポーツ部)			
五合目インフォメーションセンターでの外国人等相談対応件数（開山期間中）	9,430 件 (H30)	H30と同水準を維持 (R 4)	7,515 件 (R 4)	79.7
1-2-16 森林の保健休養機能の活用	(林政部)			
森林公園、森林文化の森、清里の森の利用者数	713 千人 / 年 (H30)	787 千人 / 年 (R 4)	591 千人 / 年 (R 4)	△ 164.9
1-2-17 地域資源を活用した農泊の推進	(農政部)			
農泊ビジネスプランの策定地区数	5 地区 (H30 累計)	15 地区 (R4 累計)	24 地区 (R4 累計)	190.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
受入環境の整備 【観光文化・スポーツ総務課】 ① 【観光振興課】 ②③ 【観光資源課】 ④⑤⑥ 【県有林課】 ⑦ 【建築住宅課】	観光総務費 (761) 757 ①④ 観光宣伝費 (195,000) 84,340 ③ 観光施設費 (92,355) 83,426 ⑤⑥ 住みよい地域づくり推進費 (1,446,461) 442,700 ② 緑のふるさと推進事業費 (11,000) 10,700 ⑦	地域全体で温かく観光客を迎えるため、住民の郷土教育やおもてなしに主体的に取り組む人材の育成、美しい景観づくり、市町村等が行う安全・安心・快適な観光施設整備への支援の実施、ユニバーサルデザイン化の推進、インバウンド対応への取り組みなどを進めた。 これにより、県民等の自主的なおもてなしの取り組みの促進や、観光客の受入環境の整備に寄与した。 ①おもてなしのやまなし知事表彰 令和5年1月 9団体・4事業者 ②やまなしグリーン・ゾーン認証宿泊施設高付加価値化支援事業 193件 ③インバウンド観光復活プロジェクト事業(受入環境整備事業) 242件 ④美しい景観づくり 選定会議 年2回 選定箇所 11箇所 ⑤富士の国やまなし観光振興施設整備補助金 補助対象 11市町村 事業 12事業 ⑥富士の国やまなし観光振興施設整備補助金(がんばる地域応援枠) 補助対象 2事業者 事業 2事業 ⑦眺望伐採等の森林整備 11箇所

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
地域資源の活用 【観光文化・スポーツ総務課】 【観光振興課】 ①②③ 【観光資源課】 ④⑤⑥⑦⑧	企画総務費 (24,505) 23,735 ①②③ 観光総務費 (20,855) 20,855 ④⑤⑥⑦ 観光宣伝費 (8,408) 8,408 ⑧	<p>コト消費型・トキ消費型といった観光ニーズの多様化や旅行形態の変化に対応するため、魅力ある地域資源の磨き上げとともに、富裕層を含め、旅行者のニーズに適した体験型プログラムを組み込む着地型観光などの推進に取り組んだ。</p> <p>これにより、地域における観光客の受入体制の整備促進や情報発信の強化に寄与した。</p> <p>①やまなし美食セミナーの開催 令和4年10月 参加者 56人</p> <p>②やまなし美酒めぐりスタンプラリーの実施 参加者 589人</p> <p>③やまなし美酒セミナーの開催 令和5年2月 参加者 45人</p> <p>④峡東地域のワインや宿泊等の事業者が連携して行う地域活性化の取り組みへの支援 4件</p> <p>⑤日本遺産特別講演会の開催 令和5年3月 参加者 50人</p> <p>⑥峡南地域周遊観光シェアサイクル整備 シェアステーション 10箇所 シェアサイクル計 50台</p> <p>⑦人気アニメを活用した広域周遊イベントの実施 参加者 9,696人</p> <p>⑧信玄公生誕500年記念イベントの実施 令和4年4月 参加者 4,147人</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
魅力が伝わる情報発信 【観光振興課】 ①②③④⑤⑥⑦ 【国際戦略グループ】 ⑧	観 光 宣 伝 費 (79,721) 78,601 ①②③④⑤⑥ ⑦ 諸 費 (8,606) 5,404 ⑧	<p>本県観光の魅力が国内外の観光客に正確に伝わるよう、情報発信技術の活用や、オンライントラベルエージェントとの連携強化による効果的な情報発信に取り組むとともに、市場特性に応じた国際観光プロモーションに取り組んだ。</p> <p>これにより、旅マエ、旅ナカなど観光客の多様なニーズに応じ、必要な情報が容易に取得できることに寄与した。</p> <p>①富士の国やまなし観光ネットでのページビュー数 1,106万PV（前年度比110.7%）</p> <p>②オンライントラベルエージェントと連携した海外への情報発信 プロモーション期間中の宿泊予約 中国 482泊 東南アジア 282泊</p> <p>③サンフランシスコにおけるプロモーションの実施 現地旅行会社・メディア24社38名参加</p> <p>④ロサンゼルスにおけるプロモーションの実施 実施後3カ月現地旅行会社への問い合わせ 約600件</p> <p>⑤在日大使館ファムトリップの実施 2件</p> <p>⑥米国向けプロモーションの実施 動画6本作成、再生数約18万回</p> <p>⑦グリーンゾーン認証を中心としたプロモーションの実施 動画5言語作成、ファムトリップ1件</p> <p>⑧海外からの研修員の受入による国際交流の推進 ・海外技術研修員の受け入れ ブラジル、ベネズエラから各1名</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
観光産業の生産性 向上等の推進 【観光文化・スポーツ総務課】 ①② 【観光振興課】 ③④⑤	観光総務費 (8,500) 5,383 ③④⑤	裾野が広い観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」を高めるため、観光産業の生産性の向上や観光人材の育成、販路拡大に取り組んだ。 これにより、観光事業者等の取り組みや観光客の消費喚起に寄与した。 ①観光消費額(速報値) 2,955億円(前年比109.9%) ②地域未来投資法に基づく地域経済牽引事業への支援 ③DMOによる観光生産性向上講座の開催 延べ実施回数 23回 延べ参加人数 220人 ④DMOによる専門家派遣事業の実施 17件 ⑤MICE*誘致を促進するため、「やまなしMICEガイド」等で情報発信
地域経済を支える 観光の再生と新たな 展開への支援 【観光文化・スポーツ総務課】 ①②③ 【観光振興課】 ④⑤⑥⑦⑧⑨ 【観光資源課】 【世界遺産富士山課】 【文化振興・文化財課】 ⑩	観光総務費 (17,080,939) 10,786,595 [4,314,081] ①②③④⑤ 住みよい地域づくり推進費 (1,446,461) 442,700 ⑥ 企画総務費 (24,505) 23,735 ⑦ 観光宣伝費 (212,616) 99,026 ⑧⑨ 考古博物館費 (5,146) 4,169 ⑩	本県の観光産業の再生に向け、落ち込んだ観光需要を喚起するとともに、安心して信頼される環境整備や、新たな観光コンテンツの開発、本県ならではの美食ブランドの創造など、観光の高付加価値化に取り組んだ。 また、働き方改革の推進を踏まえた新たな観光ビジネスの展開支援やインバウンド再開を見据えた準備を進めた。 これにより、国内外からの多くの方に選ばれる魅力ある観光地づくりに寄与した。 ①県民限定やまなしグリーン・ゾーン宿泊割り事業 510,418人泊 ②やまなしグリーン・ゾーン旅割事業 800,802人泊 ③地域連携観光プラン創出事業 10件 ④教育旅行の県内誘致 43,241人 ⑤プレミアムツアー造成支援による誘客 40,293人 ⑥やまなしグリーン・ゾーン認証宿泊施設高付加価値化支援事業 193件 ⑦やまなし美食セミナーの開催 令和4年10月 参加者 56人 ⑧インバウンド観光復活プロジェクト事業(受入環境整備) 242件 ⑨上質なインバウンド受入環境調査 3,274施設、海外OTA等情報発信 200事業者 ⑩山梨・静岡・長野文化財交流展示会 開催回数 各1回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
観光DXの推進 【観光文化・スポーツ総務課】 【観光振興課】 ① 【観光資源課】 【世界遺産富士山課】 ② 【文化振興・文化財課】 ③	観光総務費 (1,800) 1,800 ① 考古博物館費 (880) 880 ③	DXの活用により観光客の利便性・快適性の向上や、ウィズコロナ・ポストコロナ対応の新しい観光コンテンツの魅力向上を図るなど、観光の高付加価値化を進め、国内外からの一層の集客と長期滞在・県内周遊の促進等の取り組みを行った。 これにより、観光DXの推進に寄与した。 ①AIチャットボットの運用 アクセス数 26,014件 ②富士山世界遺産センターにVR(仮想現実)技術を活用した映像コンテンツを整備 利用者数 6,668人 ③先端技術であるAR(拡張現実)を活用した主要な古墳等を復元するアプリの運用 アプリ利用者数 10,210人
観光振興を通じた 県内経済活性化 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用) 【観光振興課】 ①	観光宣伝費 (1,000) 999 ①	東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーを活用し、観光振興を通じた県内経済の活性化を図るため、本県の魅力の積極的な情報発信に取り組んだ。 これにより、県の認知度向上に寄与した。 ①1都10県連携によるプロモーションサイトの運用 SNS・広告配信のリーチ数 412,287

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
サイクル王国やま なしの実現 【道路整備課】 ①②③ 【交通政策課】 ④⑤ 【観光振興課】 ⑥	道路橋りょう建設費 (113,662) 113,662 ③ 道路橋りょう整備費 (43,948) 21,257 [22,691] ③ 道路橋りょう総務費 (62,353) 62,279 ①②③ 交通安全推進費 (643) 512 ④⑤	<p>東京オリンピックの自転車競技ロードレースコース等を活用し、本県への誘客を促進し、地域活性化につなげるとともに、自転車の安全で適正な利用等を促進し、「サイクル王国やまなし」を実現するため、自転車利用環境の整備、観光資源を活用した魅力づくりとインターネット等を通じた情報発信、受入環境の形成、自転車を活用した健康増進、スポーツ振興、安全適正利用の促進等に取り組んだ。</p> <p>また、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車損害賠償責任保険等への加入促進等を図るための施策に取り組んだ。</p> <p>これにより、自転車による地域活性化のための環境が整備された。</p> <p>①やまなし自転車活用戦略会議の開催 令和5年2月 ②中央地域部会(3回)、峡北地域部会(1回)、東部地域部会(1回)、ぐるり富士山一周ルート検討会(1回)の開催および中央地域のモデルルート作成 ③矢羽根型路面表示の整備 国道413号外11路線 延長60.6km ④自転車損害賠償責任保険等加入済みステッカーの配付 20,796枚 ⑤高校生交通安全CMコンテストの開催 募集期間：令和4年12月～令和5年2月 受賞作品：6作品 表彰式：令和5年3月 ⑥「富士の国やまなしを全力で走る+」サイト等における、サイクルの魅力や観光スポットの情報発信 ページビュー数 138,939 PV (前年比87.3%)</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
南アルプス観光の 促進 【南アルプス観光振興室】 ①②③ 【道路整備課】 ④ 【治山林道課】 ⑤	観光総務費 (15,474) 15,264 ①②③ 道路橋りょう建設費 (292,592) 171,282 [121,310] ④ 道路橋りょう整備費 (42,403) 18,233 [24,170] ④ 道路橋りょう総務費 (1,367,788) 722,349 [645,439] ④ 林 道 費 (188,133) 110,100 [78,033] ⑤ 林 道 費 (恩賜県有財産特別会計) (198,464) 190,114 [8,350] ⑤	南アルプス観光のグレードアップを図るため、「南アルプス観光振興ビジョン」に基づき、具体的施策の展開等を推進するため、南アルプス観光推進協議会を立ち上げ、関係機関と南アルプス地域の魅力向上を図るための取り組みについて協議を行うとともに、南アルプス地域へのアクセス、災害時の避難や救援、物資輸送等を支える交通基盤の整備を計画的に進めた。 これにより、南アルプス観光の促進に寄与した。 ①南アルプス観光推進協議会の開催 2回 ②広河原の無料Wi-Fiの運用 ③南アルプス観光高付加価値化調査実施 令和4年2月～令和5年2月 ④早川芦安連絡道路の整備 4箇所 ⑤南アルプス林道の整備 5箇所

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
「ワイン県」宣言 を活用した観光振興 【観光振興課】 ①②③④	企画総務費 (13,668) 13,667 ①②③ 商工振興費 (38,794) 38,782 ④	「ワイン県」宣言や日本遺産認定（日本ワイン140年史）を契機に、本県への誘客および県産ワインの高付加価値化を図るため、本県のワインの魅力为全国に向けて情報発信を行った。 また、令和2年7月に「Cave de ワイン県やまなし」としてリニューアルしたアンテナレストランを首都圏におけるワイン県の魅力発信拠点として、県産食材を使用した料理の提供、物販を行った。 これにより、「ワイン県」の認知度向上が図られ、県産ワインの高付加価値化に寄与した。 ①ダイナースクラブ・フランスレストランウィーク2022への参加 令和4年9月～令和4年10月 ②やまなし美酒めぐりスタンプラリーの実施 参加者589人 ③やまなし美酒セミナーの実施 令和5年2月 参加者45人 ④「Cave de ワイン県やまなし」の運営
世界文化遺産富士山の普及啓発 【世界遺産富士山課】 ①②	企画総務費 (104,823) 97,725 ①②	富士山の顕著な普遍的価値の理解を促進するため、富士山世界遺産センターを中心に、各構成資産をつなぐ巡礼路の活用や、リバーズ！富士講プロジェクトなどの実施、キッズ・スタディ・プログラムの推進等に取り組んだ。 これにより、富士山の顕著な普遍的価値に対する理解の促進に寄与した。 ①普及啓発物品の配布 10,000個 ②現地研修の開催 18回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
富士山の安全対策 の実施 【世界遺産富士山課】 ①②③④⑤⑥ 【道路管理課】 ③	企 画 総 務 費 (186,645) 176,724 ①②③④⑤⑥ 道 路 橋 り よ う 整 備 費 (4,209) 4,209 ③ 道 路 維 持 費 (34,899) 34,899 ③	富士登山者や来訪者の安全確保を図るため、関係機 関と連携した情報共有の体系化を図るとともに、登山 指導やパトロール、救護所等の安全対策を実施したほ か、感染リスクの低減を図る取り組みを行った。 これにより、富士登山の安全確保に寄与した。 ①標識設置・撤去 64カ所 ②インフォメーションセンター外国人等相談対応件数 7,515件 ③富士山登下山道維持管理業務実施 令和4年6月～令和4年9月 ④事前指導の実施 令和4年7月～令和4年9月 ⑤登下山道標識の多言語表示や道標の管理 令和4年7月～令和4年9月 ⑥登山者への検温・体調確認の実施 令和4年7月～令和4年9月
登山の安全の確保 【観光資源課】 ①② 【警：地域課】 ③	観 光 総 務 費 (6,471) 5,067 ①② 一 般 警 察 活 動 費 (3,194) 2,343 ③	登山の安全の確保を図るため、条例の周知・普及啓 発を進めるとともに、厳冬期(12月から翌3月)の 間は富士山、八ヶ岳、南アルプスの山域の登山口で登 山届の提出指導などを行った。 また、登山の安全の確保を図るため、年間を通し計 画的に山岳遭難救助訓練を実施し、救助技能を向上さ せた。 これにより、条例に定める登山の安全の確保のための 環境の整備が図られ、本県の山岳観光振興に寄与した。 ①安全登山推進会議 2回 ②登山口指導等 県内7箇所 登山口指導期間 62日間 参加者 延べ153人 ③山岳遭難救助訓練の実施 7回 計14日

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
伝統的観光地の再 活性化 【観光文化・スポーツ総務課】 【観光資源課】 ①②③④⑤	観 光 総 務 費 (3,587) 2,649 ①②③④⑤	<p>観光産業を県内産業の稼ぎの柱とすべく、観光入込客数や観光消費額の停滞に伸び悩む伝統的観光地の再活性化を図るため、地元自治体を主体に、観光事業者等の関係団体や、有識者等で構成する会議を設置・開催し、具体的な施策等を検討するとともに、当該検討結果に基づき、それぞれの立場において取り組みの支援を行った。</p> <p>これにより、事業者・行政・住民が課題や解決方法を共有した上で、それぞれの立場で取り組みを実施していく体制が構築された。</p> <p>①昇仙峡地域活性化推進協議会の開催 1回</p> <p>②日本遺産多言語パンフレット（協議会事業） 日本語版パンフレット 10,000部 英語版・中国語版パンフレット 各5,000部</p> <p>③昇仙峡エリア内総合案内板・解説板の改修（協議会事業）</p> <p>④昇仙峡滝上園地景観整備（協議会事業）</p> <p>⑤昇仙峡エリア内遊歩道整備（協議会事業）</p>
文化観光の推進 【文化振興・文化財課】 ①②③④	芸術文化振興費 (36,462) 31,596 ① 文化財保護費 (2,000) 675 ② 考古博物館費 (1,593) 1,587 ③④	<p>文化芸術資源を観光資源として活用して誘客力を高める取り組みを進めるため、様々な分野と連携、協働しながら、文化財など文化芸術資源及びその中核となる美術館等博物館施設の磨き上げを行った。</p> <p>これにより、文化芸術資源を活用した付加価値の高い文化観光モデルの創出に寄与した。</p> <p>①美術館等の文化芸術資源等の保存と活用を図るため、ミレー作品の高精細画像（解像度10,000dpi）を作成</p> <p>②文化資源高付加価値化促進事業の実施 1市1町2事業</p> <p>③フリーペーパー「縄文ZINE」発行 7,000部</p> <p>④講演会の開催 1回</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
森林の保健休養機能の活用 【森林政策課】 ⑤ 【県有林課】 ①②③④	緑のふるさと推進事業費 (219,558) 195,899 [19,199] ①②③ 保護管理費 (恩賜県有財産特別会計) (209,831) 162,181 [27,671] ①④ 林業総務費 (8,458) 7,000 ⑤	観光・レクリエーション利用を促進し地域の活性化を図るため、森林公園や森林文化の森などにおいて、地域の福祉・観光等の様々な分野と連携した森林利用プログラムの提供や計画的な施設の更新・改修、コロナ禍に対応し感染予防対策や誘客促進事業などを行うとともに、民間による森林空間を活用した新たなビジネスの創出に対し支援を行った。 これにより、森林が有する保健休養機能の活用に寄与した。 ①森林公園等の利用者数 591千人 ②「武田の森」森林セラピー・スペシャルツアーへの支援 「金川の森」森林セラピー体験モニターツアー等の実施 ③「金川の森」MTBコース改修等 ④清里の森の再整備 クラブハウス改修等 ⑤森林空間活用への支援 恵みの森モデル林の整備 3箇所 森林活用ビジネス創出への支援 1箇所
地域資源を活用した農泊の推進 【農村振興課】 ①②③	農業総務費 (6,592) 5,661 ①②③	農村地域の活性化と所得向上を図るため、農泊事業者が行う企業向け農泊プログラムの開発を支援した。 これにより、地域の意欲醸成が図られ、新たに4団体が農泊事業に取り組むなど、本県農泊の推進に寄与した。 ①農泊プログラム作成セミナーの開催 4回 ②農泊プログラムの作成支援 4団体 ③モデルツアーの開催 4回

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
農業遺産の活用による農業振興 【農政総務課】 ①②③④⑤⑥⑦	農業総務費 (2,256) 1,468 ①②③④⑤⑥ ⑦	<p>果樹農業の維持・発展と地域景観の保全を図るため、峡東地域における果樹農業システムの保全・活用を支援するとともに、峡東3市と連携して、世界農業遺産への認定に取り組んだ。</p> <p>これにより、令和4年7月に世界農業遺産に認定され、農業者や地域住民の果樹農業システムの保全・活用の意識の醸成が進むなど、農業遺産の活用による農業振興に寄与した。</p> <p>①峡東地域世界農業遺産推進協議会総会の開催 2回 ②果樹農業システムの保全・活用検討会の開催 4回 ③小学生向け副読本の作成 ④高校での農業遺産教育ワークショップの開催 1回 ⑤住民向け農業遺産体験プログラムの開催 4回 ⑥地域外向け果樹農業システム体験ツアーの開催 2回 ⑦農業遺産保全・活用の情報発信 185回</p>
インフラの価値や魅力の情報発信 【景観まちづくり室】 ①②③	土木総務費 (693) 693 ①②③	<p>インフラへの理解を深めるとともに新たな観光資源として県内外からの誘客や地域の活性化を促すため、インフラが持つ役割とその技術的、文化的な価値や魅力についてポータルサイト「富士の国やまなしインフラガイド」及びインスタグラム「県土やまなし未来づくり」にて情報発信した。</p> <p>また、効果的・継続的にインフラの魅力を発信できるよう関係機関との連携体制を構築した。</p> <p>これにより、県民や県外観光客に対するインフラの価値や魅力の認知度向上に寄与した。</p> <p>①ポータルサイト等の開設・運営 紹介施設 63施設 動画掲載施設 9施設 インスタグラム開設 フォロワー数 1,316人 (令和5年3月末現在)</p> <p>②建設や観光分野の庁外組織と連携した情報発信 3団体 ③インフラツーリズムの実施 1回</p>

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	3	農業の成長産業化	計画掲載施策数	10
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>ぶどうやももなどの果実は、本県の農業生産額の過半数を占める基幹品目となっています。今後は、首都圏などの国内市場に加え、アジア諸国を中心とした海外市場において、一層のブランド強化と販路拡大を進め、高品質で付加価値の高い農産物の生産拡大を図ります。</p> <p>また、4パーミル・イニシアチブ等地球環境に配慮した農業や、県産の野菜や米、食肉、魚、花きなどのブランド力の強化を進めるとともに、ICT等を活用したスマート農業の研究、普及を進めるなど、生産コストの低減や省力化を進め、収益性の向上を図ります。</p>				
令和4年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ ビッグデータを活用したスマート農業の推進		P.24	農 政 部
	○ 県産農産物等の輸出拡大		P.25	農 政 部
	○ オリジナル品種の育成、高品質化の推進		P.26	農 政 部
	○ 農業競争力を強化するための基盤整備の推進		P.26	農 政 部
	○ 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進		P.27	農 政 部
	○ 水田のフル活用の推進		P.28	農 政 部
	○ 農地集積の促進		P.29	農 政 部
	○ 農業の6次産業化の推進		P.29	農 政 部
	○ 内水面漁業の振興		P.30	農 政 部
○ 家畜の防疫対策		P.30	農 政 部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		28,903 百万円	
	前年度までの事業費		21,704 百万円	
	本年度の事業費		7,199 百万円	

成果指標	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	1-3-2 県産農産物等の輸出拡大			(農政部)	
	県産果実の輸出額	925 百万円 (H30)	1,300 百万円 (R 4)	2,073 百万円 (R 4)	306.1
	1-3-3 オリジナル品種の育成、高品質化の推進			(農政部)	
	赤系ぶどう苗木供給本数	0 本 (H30)	7,000 本 (R4 累計)	12,570 本 (R4 累計)	179.6
	試験研究成果情報数	10 件 / 年 (H30)	10 件 / 年 (R 4)	10 件 / 年 (R 4)	100.0
	1-3-4 農業競争力を強化するための基盤整備の推進			(農政部)	
	果樹産地等における基盤整備面積	4,294 ha (H30 累計)	4,700 ha (R4 累計)	4,702 ha (R4 累計)	100.5
	1-3-5 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進			(農政部)	
	オリジナル品種等出荷量 夢みずき (もも)	22t / 年 (H30)	330t / 年 (R 4)	526t / 年 (R 4)	163.6
	オリジナル品種等出荷量 ブラックキング (ぶどう)	0t / 年 (H30)	100t / 年 (R 4)	31t / 年 (R 4)	31.0
	オリジナル品種等出荷量 甲州牛	389 頭 / 年 (H30)	500 頭 / 年 (R 4)	585 頭 / 年 (R 4)	176.6
	1-3-5 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進			(農政部)	
	1-3-9 内水面漁業の振興			(農政部)	
	オリジナル品種等出荷量 富士の介	0t / 年 (H30)	60t / 年 (R 4)	62t / 年 (R 4)	103.3
	1-3-6 水田のフル活用の推進			(農政部)	
	麦、大豆、加工・飼料用米等の作付面積	337 ha (H30)	381 ha (R 4)	368 ha (R 4)	70.5
	1-3-7 農地集積の促進			(農政部)	
	集積率	38.6% (H30)	44.5% (R 4)	47.4% (R 4)	149.2
	荒廃農地解消累計面積	2,234 ha (H30)	2,870 ha (R 4)	3,068 ha (R 4)	131.1

	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
成 果 指 標 の 達 成 状 況	1-3-8 農業の6次産業化の推進			(農政部)	
	6次産業化に新たに取り組む農業者等	92 経営体 (H30)	132 経営体 (R 4)	132 経営体 (R 4)	100.0
	1-3-10 家畜の防疫対策			(農政部)	
	モニタリング検査数	116 件 / 年 (H30)	116 件 / 年 (R 4)	113 件 / 年 (R 4)	97.4
	防疫演習	4 回 / 年 (H30)	4 回 / 年 (R 4)	3 回 / 年 (R 4)	75.0
	立入検査・指導	2 回 / 年 (H30)	2 回 / 年 (R 4)	2 回 / 年 (R 4)	100.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
ビッグデータを活用したスマート農業の推進 【農業技術課】 ①② 【農村振興課】 ③	総合農業技術センター費 (2,374) 2,332 ① 果樹試験場費 (2,500) 2,478 ① 農業改良普及費 (17,104) 16,783 ①② 農業総務費 (32,255) 32,255 ③	生産者の所得向上を図るため、シャインマスカット、キュウリ、ナスを選定し、生産性の飛躍的向上を図るデータ農業技術の開発に取り組んだ。 また、省力化等による生産コスト削減を図るため、IoT等を活用したスマート農業技術の確立に向けて先進技術の導入・実証への支援を行った。 これにより、ビッグデータを活用したスマート農業の推進に寄与した。 ①センシング等によるデータを活用した生産性の向上(ハウス栽培) ・シャインマスカットの多収・高品質安定生産技術の開発 ・キュウリ養液栽培における多収・高品質安定生産技術の開発(露地栽培) ・シャインマスカット、ナスの篤農家のデータ収集・データ解析 ②IoT等の先進技術の導入、実証支援 4件 統合環境制御装置、ブドウ減農薬栽培支援システムなど ③スマート農業導入に向けた機器整備等への支援 6件 天窓自動開閉装置、ラジコン草刈り機など

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県産農産物等の輸出拡大 【販売・輸出支援課】 ①②③④⑤⑥⑦ 【食糧花き水産課】 ⑧	果樹園芸等振興費 (54,056) 52,573 ②③④⑤⑥ 農 業 総 務 費 (8,398) 3,687 [4,710] ⑦ 水産業振興費 (4,084) 2,003 [1,937] ⑧	<p>県産農産物等の輸出拡大を図るため、検疫条件が未設定の中国等への輸出解禁に向けて取り組むとともに、商流の構築など輸出促進に向けた新たな体制づくりと、アジア諸国での戦略的・効果的な販売促進活動を推進した。</p> <p>これにより、県産農産物等の海外での更なる認知度向上が図られ、令和4年の輸出額実績は目標額を大きく上回り20億円を超えるなど、アジア諸国等への輸出拡大に寄与した。</p> <p>①ぶどうの輸出解禁に向けた国等への要望 中国、ベトナム 2回</p> <p>②果実輸出に関する市場調査 令和4年5月～令和5年3月</p> <p>③輸出先国・地域へのSNSによる情報発信 香港、台湾、シンガポール他7ヵ国・地域 令和4年5月～令和5年3月</p> <p>④店頭等でのプロモーション 香港、台湾、シンガポール他6ヵ国・地域 延べ17回</p> <p>⑤成功モデルとなる輸出商流の構築 香港、台湾、タイ 3件</p> <p>⑥在日大使館へのPR 大使館訪問 3ヵ国</p> <p>⑦海外商標登録の申請 「おいしい未来へ やまなし」ロゴマーク 登録済 3ヵ国・地域 「4パーミル・イニシアチブ」ロゴマーク 登録済 3ヵ国・地域</p> <p>⑧海外商標 「富士の介」名称 登録済 2ヵ国・地域 「富士の介」ロゴマーク 登録済 1ヵ国・地域</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>オリジナル品種の育成、高品質化の推進</p> <p>【農業技術課】 ①④ 【果樹・6次産業振興課】 ②⑤ 【販売・輸出支援課】 ③ 【食糧花き水産課】 ③ 【農村振興課】 ⑤</p>	<p>果樹試験場費 (9,817) 9,322</p> <p>①④</p> <p>総合農業技術センター費 (6,095) 5,888</p> <p>④</p> <p>果樹園芸等振興費 (213,416) 169,305</p> <p>②③⑤</p> <p>農業総務費 (7,751) 7,751</p> <p>⑤</p>	<p>本県農産物の更なるブランド化を図るため、オリジナル品種の育成と苗木の供給、高品質・省力化に向けた技術開発・普及や、高品質安定生産に向けた施設の整備等を進めた。</p> <p>これにより、果樹のオリジナル品種候補の選定や、ぶどうの「甲斐ベリー7」や「ピラミッドアジサイ」の産地化と、ぶどうの施設化が促進されるなど、高品質化の推進に寄与した。</p> <p>①果樹のオリジナル品種の育成 大粒で着色良好なぶどう 赤系及び黒系各1系統 大玉で食味の優れたもも 2系統</p> <p>②赤系ぶどう（甲斐ベリー7）の早期産地化 苗木供給本数 約12,500本 面積（推計） 約100ha</p> <p>③ピラミッドアジサイオリジナル品種 切り花 出荷量2,500本 出荷農家数6戸 鉢物 出荷量4,760鉢 出荷農家数10戸</p> <p>④農作物の高品質化・省力化栽培技術の開発・普及 10件 「ぶどう甲斐ベリー7の高品質生産技術」 「夏秋トマトの簡易雨除け栽培における裂果抑制技術」 など</p> <p>⑤ぶどう加温ハウスや雨よけ施設の整備等の支援 整備件数 96件 整備面積 約13ha</p>
<p>農業競争力を強化するための基盤整備の推進</p> <p>【耕地課】 ①②</p>	<p>農地総務費 (12,801) 9,050</p> <p>①②</p> <p>土地改良費 (5,791,465) 3,159,908 [2,560,518]</p> <p>①②</p>	<p>県産農産物の生産性の向上と生産コストの削減を図るため、担い手のニーズに対応しつつ、果樹産地等におけるほ場や農道、用排水路などの農業生産基盤の整備を推進した。</p> <p>これにより、果樹産地等の再編整備が進み、農作業の効率化・省力化が図られ、産地の競争力強化に寄与した。</p> <p>①ほ場、農道等の農業生産基盤整備 武田の里地区 外17地区</p> <p>②樹園地等の農地の総合的な整備 梅沢・日向山地区 外32地区</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進</p> <p>【販売・輸出支援課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒</p> <p>【農業技術課】 ⑦⑧⑨⑩⑪</p> <p>【果樹・6次産業振興課】</p> <p>【畜産課】 ⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</p> <p>【食糧花き水産課】 ⑲</p> <p>【農政総務課】 ㉑</p>	<p>農業総務費 (106,816) 91,612 [7,500] ①②③④⑤⑥ ⑰⑱⑲⑳㉑㉒</p> <p>農業改良普及費 (3,741) 2,811 ⑩⑪</p> <p>畜産振興費 (603,054) 174,115 [186,006] ⑬⑭⑮⑯⑰⑱</p> <p>酪農試験費 (2,516) 2,337 ⑫</p>	<p>県産農産物等のブランド強化を図るため、農業関係団体と連携を密にし、民間ノウハウを活用したPRなど新たな取り組みや市場、小売店等における販売促進活動の強化を図った。</p> <p>これにより、首都圏等の大消費地において県オリジナル品種、甲州牛、富士の介等の品質の高さに加え、「4パーミル・イニシアチブ」や「アニマルウェルフェア」等のSDGsに貢献する本県独自の取り組みなど、県産農畜水産物等の魅力について更なる認知度向上が図られ、「やまなし」ブランドの浸透と強化に寄与した。</p> <p>①YouTubeによるPR 2本</p> <p>②ヴァンフォーレ甲府アウェイ用練習着等によるPR</p> <p>③高級百貨店等におけるフルーツフェアの実施 31店舗</p> <p>④大消費地等でのトップセールスの実施 中京地区 令和4年7月 京浜地区 令和4年9月</p> <p>⑤「おいしい未来へ やまなし」のプロモーション WEB雑誌等への記事掲載 8回 特設ホームページの拡充 令和4年11月 出荷資材等へのロゴマーク印字補助 24件 PR資材作成（リーフレット、ポスター等） PR動画の作成 5本</p> <p>⑥4パーミル・イニシアチブ農産物のプロモーション エシカル消費層向け店頭プロモーション 3店舗 アニメーション動画によるプロモーション 小中学校等への周知、自由研究への活用促進 令和4年6月 大手小売店における販売フェア 15店舗 PR資材作成（リーフレット、ポスター等）</p> <p>⑦4パーミル・イニシアチブ実証ほの設置 20箇所（ブドウ8、モモ6、スモモ6 箇所）</p> <p>⑧やまなし4パーミル・イニシアチブ農産物等の認証 認証個人・団体数104（令和5年3月末現在）</p> <p>⑨4パーミル・イニシアチブ全国協議会研修会の開催 2回 全国協議会参画団体50（令和5年3月末現在）</p> <p>⑩有機農業地域普及展示ほの設置 2箇所</p> <p>⑪有機農産物流通促進・交流支援セミナーの開催 令和4年12月</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農地集積の促進 【担い手・農地対策課】 ① 【耕 地 課】 ②③	農 地 調 整 費 (69,449) 69,269 ① 土 地 改 良 費 (5,712,139) 3,140,428 [2,544,675] ②③	担い手への農地の集積・集約を進めるため、農地中間管理機構が行う事業（農地の借り受け・貸し付け、当該農地の利用条件の改善）や市町村等が行う荒廃農地の再生を支援するとともに、ほ場や農道等の基盤整備を推進した。 これにより、基盤整備による農作業の効率化や省力化が図られ、農地の担い手への貸し付けが進み、農地集積の促進に寄与した。 ①農地集積面積 484.1 ha うち農地中間管理事業による集積面積 301.7 ha ②農作業の省力化、効率化に向けた基盤整備 龍岡地区 外 45 地区 ③基幹農道整備 中野地区 外 4 地区
農業の6次産業化の推進 【果樹・6次産業振興課】 ①② 【農 村 振 興 課】 【耕 地 課】	農 業 総 務 費 (61,430) 59,944 ①②	農産物等の付加価値を高め、農家所得の向上を図るため、農山漁村発イノベーションサポートセンターを設置し、農業者等が取り組む商品開発や販路開拓等を支援するとともに、加工施設等の整備を支援した。 これにより、6次産業化に取り組む経営体が増加し、農家の所得向上につながるなど農業の6次産業化の推進に寄与した。 ①6次産業化サポートセンターの専門家による支援 支援事業者数 20 経営体 専門家派遣件数 93 件 支援内容 加工品開発、販路開拓等 ②直売所、農産物加工施設等の整備 ワイン醸造施設 2 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
内水面漁業の振興 【食糧花き水産課】 ①②③④⑥⑦⑧ 【販売・輸出支援課】 ⑤	水産業振興費 (82,109) 75,807 ①②③④⑤⑥ ⑦⑧	<p>養殖業者の所得向上を図るため、県が開発した「富士の介」のブランド化を進めるとともに、生産拡大を支援した。</p> <p>また、河川や湖沼における釣りなど観光と連携した遊漁の活性化を図るため、水産資源の保全や漁場環境の改善に向けた啓発活動などに取り組んだ。</p> <p>これにより、富士の介の需要と供給が拡大するとともに、放流指導等により遊漁券の販売額が前年に比べ増加するなど、内水面漁業の振興に寄与した。</p> <p>①富士の介の種苗供給 発眼卵 18万粒、稚魚 7.6千尾</p> <p>②富士の介生産者連絡会議の開催 1回</p> <p>③富士の介生産業者 13業者</p> <p>④富士の介出荷量 62t</p> <p>⑤水産物見本市への出展 令和4年8月 来場者約3,000人</p> <p>⑥カワウ県下一斉追払い 令和4年5月 参加者11漁協延べ560人</p> <p>⑦コクチバス被害拡大防止対策の実施 駆除数 57尾 潜水による駆除 21回 刺網による駆除 18回</p> <p>⑧内水面の適切な利用を呼びかける資料の作成、指導 資料作成 クリアファイル等1,200部 指導 延べ100人 溪流魚ルアー釣り教室の開催 2回</p>
家畜の防疫対策 【畜産課】 ①②③	家畜保健衛生費 (30,543) 25,230 ②③	<p>豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病の発生防止と拡大防止を図るため、農場の立ち入り検査を行うとともに、危機管理体制を構築した。</p> <p>また、豚熱のワクチン接種を行うなど、家畜防疫の推進に寄与した。</p> <p>①防疫演習の開催 3回</p> <p>②モニタリング検査の実施 113件</p> <p>③豚熱ワクチン接種 約25,000頭</p>

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	4	林業の成長産業化	計画掲載施策数	6
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>本県の人工林は、一般的な主伐期である50年生以上の森林が6割を超えているなど、本格的な伐採時期を迎えており、ウィズコロナ・ポストコロナ社会において、自然の中で働く林業は、就業や転職、移住を希望する人々の受け皿ともなり得ることから、この充実した資源を有効活用した林業の成長産業化を進め、魅力ある産業へと押し上げていく必要があります。</p> <p>このため、ICTを活用した森林施業の生産性向上やスマート林業の普及、木材加工流通施設整備への支援などによる品質の高い木材製品の安定供給、東京圏や海外などへの新たな販路開拓、公共建築物の原則木造・木質化や民間建築物への県産材の利用を促進するとともに、川上側の林業と、川中・川下側の木材関連産業が連携したサプライチェーンの強化を図るなど、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用に向けた取り組みを推進します。</p>				
令和4年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 森林の多面的機能の持続的発揮を図る取り組みの推進		P.33	林 政 部
	○ 県産材供給体制の強化		P.33	林 政 部
	○ 県産材需要拡大の推進		P.34	林 政 部
	○ 森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進		P.34	林 政 部
	○ 特用林産物の産地化の推進		P.35	林 政 部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		12,583 百万円	
	前年度までの事業費		8,962 百万円	
	本年度の事業費		3,621 百万円	

成果指標	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
成果指標の達成状況	1-4-1 森林の多面的機能の持続的発揮を図る取組みの推進 1-4-3 県産材需要拡大の推進		(林政部) (林政部)		
	木材生産量	201 千 m ³ / 年 (H30)	272 千 m ³ / 年 (R 4)	236 千 m ³ / 年 (R 4)	49.3
	1-4-2 県産材供給体制の強化		(林政部)		
	製材用途の木材生産量	24 千 m ³ / 年 (H30)	32 千 m ³ / 年 (R 4)	23 千 m ³ / 年 (R 4)	△ 12.5
	1-4-4 森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進		(林政部)		
	林内路網の整備延長	4,598 km (H30 累計)	4,778 km (R 4 累計)	4,783 km (R 4 累計)	102.8
	1-4-5 特用林産物の産地化の推進		(林政部)		
	クロアワビタケの生産量	0.32t / 年 (H30)	4.00t / 年 (R 4)	1.32t / 年 (R 4)	27.2
	1-4-6 木質バイオマスの利活用の推進		(林政部)		
	木質バイオマス燃料用木材供給量	38 千 m ³ / 年 (H30)	109 千 m ³ / 年 (R 4)	88 千 m ³ / 年 (R 4)	70.4

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
森林の多面的機能の持続的発揮を図る取り組みの推進 【森林政策課】 ①②	林業総務費 (546) 134 ① 林業試験費 (20,683) 15,963 ②	「やまなし森林整備・林業成長産業化推進プラン」に基づき、施策の総合的な実施を図ることにより、森林の多面的機能の持続的発揮に向けた取り組みの推進に寄与した。 ①山梨県森林審議会の開催（計画の進捗確認・評価等） 1回 ②森林総合研究所における試験・研究の実施 24課題
県産材供給体制の強化 【森林整備課】 ①② 【林業振興課】 ③④ 【県有林課】 ②	造林費 (957,574) 550,166 [382,067] ② 林業振興指導費 (41,428) 31,854 [810] ①③④ 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (994,591) 752,086 [233,278] ②	森林施業における伐採と造林の一貫作業システムやICT等の先端技術を活用したスマート林業の導入などによる生産性の向上や、再生林に必要な苗木の生産力強化などによる森林整備の推進、木材加工流通施設の充実、林業・木材産業関連事業者によるサプライチェーンの構築などに取り組んだ。 これにより、県産材の供給体制の強化に寄与した。 ①スギ・ヒノキの苗木生産に向けた採種園の整備 0.36 ha ②森林整備の実施面積 6,625 ha ③高性能林業機械の導入に対する助成 1件 ④サプライチェーンの構築に取り組んだ企業グループによる住宅建築等件数 100件

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
県産材需要拡大の 推進 【林業振興課】 ①②③④ 【県有林課】 ⑤	林業振興指導費 (241,508) 143,179 [41,710] ①②③④ 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (2,487) 1,762 ⑤	県産木材の利用の促進に関する基本方針に基づき、公共建築物の原則木造・木質化や、住宅、民間施設等への県産材の利用を促進するとともに、販路の拡大に向けて取り組んだ。 これにより、県産材の需要拡大の推進に寄与した。 ①公共建築物の木造・木質化 16件 ②木造公共建築物の建築に対する助成 1件 ③Yamanashiウッド・チェンジ・ネットワークによるワークショップ開催 4回 ④人と環境にやさしい多様な県産材製品開発 13品目 ⑤県産FSC認証材*の展示会等でのPR 7回
森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進 【治山林道課】 ① 【森林整備課】 ② 【県有林課】 ②	林道費 (616,615) 482,969 [133,635] ① 林道費 (恩賜県有財産特別会計) (1,972,000) 1,503,097 [468,903] ① 造林費 (86,548) 86,548 ② 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (34,808) 27,718 [7,090] ② 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (10,110) 10,110 ②	木材の搬出や森林施業を効率的に行うための基盤となる、林道や森林作業道等の林内路網の計画的な整備を推進した。 これにより、森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進に寄与した。 ①林道の整備 延長 6.0 km ②森林作業道の整備 延長 49.9 km

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
特用林産物の産地 化の推進 【林業振興課】 ①②③	林業振興指導費 (1,694) 1,680 ①②③	県が商標登録した「山梨夏っ子きのこ（クロアワビタケ）」や「k a i 大黃（ダイオウ）」など山梨オリジナルの特用林産物新品種の栽培技術を確立するとともに、生産者の育成、販路の拡大に取り組んだ。 これにより、山村地域の活性化に向けた特用林産物の産地化の推進に寄与した。 ①クロアワビタケの生産量 1.32t ②特用林産物の栽培技術の確立及び生産者の育成 栽培指導 15 件 研修会開催 2 回 ③道の駅等での特用林産物の P R 活動 6 回
木質バイオマスの 利活用の推進 【林業振興課】 ①②	林業振興指導費 (25,950) 13,689 ①②	林内の残されている未利用材の収集、運搬の低コスト化を図る取組を支援し、木質バイオマスの安定供給体制の整備に取り組んだ。 これにより、木質バイオマスの利活用の推進に寄与した。 ①木質バイオマス燃料用木材供給量 88 千 m ³ ②林内より搬出された未利用材の材積量 9,153 m ³

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	5	地場産業や経済を循環させる産業の強化	計画掲載施策数	10
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>ワインなどのブランドは国際的に認知されてきており、織物などについてもブランド化が進みつつあります。今後は、高い品質や高度な技術を生かし、海外を含め、更にブランド化を進め、利益率の高い産業へと強化していく必要があります。</p> <p>また、県内中小企業等の事業継続を図るとともに、様々な産業が県外、さらには国外から獲得した新たな需要による経済効果を地元経済に波及させ、地域経済全体を活性化するため、商業やサービス業など、地域に密着した産業の強化を図ります。</p>				
令和4年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 企業支援の充実		P.39	産業労働部
	○ 事業承継の促進		P.39	産業労働部
	○ 地域プロモーション戦略の推進		P.40	知事政策局
	○ 産地のブランド形成の推進		P.40	産業労働部
	○ ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興		P.40	産業労働部 外
	○ 日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立		P.41	産業労働部 外
	○ 地域商業活性化への支援		P.41	産業労働部
	○ 郷土食等による地域の活性化・観光振興		P.41	県民生活部
	○ 豊かな食材を活用した食のブランドの確立		P.42	観光文化・スポーツ部
○ 史跡甲府城跡の適切な継承と中心市街地の活性化		P.42	観光文化・スポーツ部 外	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		206,824 百万円	
	前年度までの事業費		150,150 百万円	
	本年度の事業費		56,674 百万円	

成果指標	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
成果指標の達成状況	1-5-1 企業支援の充実		(産業労働部)		
	経営計画・経営革新計画を作成した企業	298社/年 (H30)	1,500社 (R1～4累計)	3,078社 (R1～4累計)	205.2
	1-5-2 事業承継の促進		(産業労働部)		
	事業承継診断を実施した件数	522件 (R 2.4～9月)	4,650件 (R 2～4累計)	7,724件 (R 2～4累計)	174.5
	1-5-4 産地のブランド形成の推進		(産業労働部)		
	県事業により海外への販路開拓に取り組んでいる事業者数	99社 (H27～30累計)	110社 (R1～4累計)	169社 (R1～4累計)	153.6
	1-5-5 ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興		(農政部)		
	醸造用甲州供給量	3,495t/年 (H29)	3,900t/年 (R 4)	3,836t/年 (R 3)	84.2
	甲州ワイン生産量	2,516 kl/年 (H29)	2,800 kl/年 (R 4)	2,761 kl/年 (R 3)	86.3
	1-5-6 日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立		(産業労働部)		
	産業技術センターにおける醸造技術向上のための依頼試験・設備利用累計件数	87件 (H30)	390件 (R1～4累計)	652件 (R1～4累計)	186.5
	1-5-7 地域商業活性化への支援		(産業労働部)		
	県の支援による新規出店者数	145件 (H27～30累計)	160件 (R1～4累計)	346件 (R1～4累計)	216.3
	1-5-8 郷土食等による地域の活性化・観光振興		(県民生活部)		
	食の伝承マイスターの認証件数	5件 (H30)	14件 (R4累計)	14件 (R4累計)	100.0
	1-5-9 豊かな食材を活用した食のブランドの確立		(観光文化・スポーツ部)		
	本事業で創造した料理スタイルに賛同し、新たな取り組みを行う県内飲食関係団体数	—	2団体 (R 4)	2団体 (R 4)	100.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果																
企業支援の充実 【産業政策課】 ①③ 【スタートアップ・経営支援課】 ①②④⑥⑦⑧ 【成長産業推進課】 【産業振興課】 ⑤	商 工 総 務 費 (178,723) 168,873 ①②③④⑥⑦ ⑧ 金 融 対 策 費 (72,989,919) 56,053,280 ⑤	<p>本県経済の持続的発展と活性化を図るため、中小企業・小規模企業が行う新技術や新製品の研究開発、経営環境の改善に向けた事業転換や販路開拓などの取り組み、さらには、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けた生産性向上のための先進技術の活用等を支援した。</p> <p>これにより、企業支援の充実が図られた。</p> <table border="0"> <tr> <td>①経営計画・経営革新計画作成の支援</td> <td>481社</td> </tr> <tr> <td>②経営革新計画を作成した企業</td> <td>24社</td> </tr> <tr> <td>③経営計画を作成した企業</td> <td>457社</td> </tr> <tr> <td>④IoT導入事業者への県支援</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>⑤商工業振興資金の新規貸し付け</td> <td>1,283件</td> </tr> <tr> <td>⑥産業技術センターにおける技術相談</td> <td>4,663件</td> </tr> <tr> <td>⑦産業技術センターにおける依頼試験</td> <td>6,721件</td> </tr> <tr> <td>⑧産業技術センターにおける設備使用</td> <td>23,590件</td> </tr> </table>	①経営計画・経営革新計画作成の支援	481社	②経営革新計画を作成した企業	24社	③経営計画を作成した企業	457社	④IoT導入事業者への県支援	4件	⑤商工業振興資金の新規貸し付け	1,283件	⑥産業技術センターにおける技術相談	4,663件	⑦産業技術センターにおける依頼試験	6,721件	⑧産業技術センターにおける設備使用	23,590件
①経営計画・経営革新計画作成の支援	481社																	
②経営革新計画を作成した企業	24社																	
③経営計画を作成した企業	457社																	
④IoT導入事業者への県支援	4件																	
⑤商工業振興資金の新規貸し付け	1,283件																	
⑥産業技術センターにおける技術相談	4,663件																	
⑦産業技術センターにおける依頼試験	6,721件																	
⑧産業技術センターにおける設備使用	23,590件																	
事業承継の促進 【スタートアップ・経営支援課】 ①②③ 【産業振興課】 ④	商 工 総 務 費 (10,000) 2,664 ③	<p>県内中小企業等の事業継続と更なる発展を図るため、事業承継ネットワーク会議を通じた関係機関の連携、事業承継・引継ぎ支援センターにおける総合的な相談・支援、商工業振興資金の事業承継支援融資等により、企業の事業承継に向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、事業承継の促進が図られた。</p> <table border="0"> <tr> <td>①事業承継ネットワーク会議の開催</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>②承継診断の実施</td> <td>2,807件</td> </tr> <tr> <td>③企業価値簡易算定や引継ぎマニュアル作成等への支援</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>④商工業振興資金の新規貸し付け（再掲）</td> <td>2件</td> </tr> </table>	①事業承継ネットワーク会議の開催	3回	②承継診断の実施	2,807件	③企業価値簡易算定や引継ぎマニュアル作成等への支援	9件	④商工業振興資金の新規貸し付け（再掲）	2件								
①事業承継ネットワーク会議の開催	3回																	
②承継診断の実施	2,807件																	
③企業価値簡易算定や引継ぎマニュアル作成等への支援	9件																	
④商工業振興資金の新規貸し付け（再掲）	2件																	

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
地域プロモーション戦略の推進 【地域ブランド推進グループ】 ①②③④⑤⑥	企画総務費 (118,917) 116,412 ①②③④⑤⑥	<p>生産者等が創意工夫しながら磨き上げている本県の優れた地域資源の品質価値を包括的に示す地域ブランドを設定して、分野横断的なプロモーションを実施することで、地域ブランドが地域資源の品質価値向上の好循環を生み出す地域プロモーション戦略を推進した。</p> <p>これにより、コーポレートブランド「やまなし」の価値向上に寄与した。</p> <p>①オウンドメディア「ハイクオリティやまなし」の記事制作・発信 40件</p> <p>②ブランド価値調査の実施 令和5年3月</p> <p>③プレスリリース配信サービスを活用した情報発信 118件</p> <p>④SNS動画を活用した山梨県の魅力発信 動画投稿数 93本</p> <p>⑤SNS分析ツールを活用した広告宣伝分析 令和4年6月～令和5年3月</p> <p>⑥露出拡大に向けたメディアリレーション活動の実施 74件</p>
産地のブランド形成の推進 【産業振興課】 ①②	商工総務費 (115,021) 110,800 ① 商工振興費 (9,199) 8,227 ②	<p>地場産業のブランド力を向上させるため、山梨のワインや日本酒、ジュエリー、織物等の認知度向上や付加価値を高める取り組みの推進、販路拡大などを図るとともに、伝統工芸品の需要開拓や後継者育成を行った。</p> <p>これにより、産地のブランド形成の推進に寄与した。</p> <p>①やまなしネオバリュープロダクツ開発支援事業による新商品開発の支援 6件</p> <p>②伝統工芸品産地組合の展示会出展や後継者育成、意匠開発の取り組みへの支援 2件</p>
ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興 【産業振興課】 ①② 【スタートアップ・経営支援課】 ③④ 【果樹・6次産業振興課】 ⑤⑥	商工総務費 (31,509) 30,787 ③④ 商工振興費 (450) 319 ①② 果樹園芸等振興費 (12,063) 8,628 ⑤⑥	<p>山梨ワインの更なる高品質化に向け、ワイン醸造技術の向上などに取り組むとともに、「甲州」の優良系統の苗木供給や、本県に適した欧州系品種の選抜とウイルスフリー母樹の育成などに取り組んだ。</p> <p>これにより、山梨ワインの品質の向上が図られるとともに、醸造用甲州や欧州系品種の生産量が増加するなど、ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興に寄与した。</p> <p>①ワイナリーへの技術指導 8社</p> <p>②ワイナリー研修の開催 7回 参加者 276人</p> <p>③高速アミノ酸分析装置等の機器の導入 2台</p> <p>④ワイン産業向けのセミナー等の開催 4回 53人</p> <p>⑤優良系統甲州の苗木の供給 苗木生産 (公財) 山梨県農業振興公社 苗木供給本数 1,176本</p> <p>⑥欧州系品種のウイルスフリー化 1品種 1系統</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立</p> <p>【スタートアップ・経営支援課】 ①②</p> <p>【食糧花き水産課】 ③</p>	<p>————</p>	<p>日本一の名水の地山梨で造られる日本酒の更なる高品質化に向け、日本酒醸造技術の向上などに取り組むとともに、原材料となる酒米の生産拡大に向けて、国の経営所得安定対策等交付金に上乗せ助成して支援した。</p> <p>これにより、日本酒の研究開発機能の強化と生産技術者の育成が図られるとともに、酒米の産地確立に寄与した。</p> <p>【日本酒研究開発】 ①高速アミノ酸分析装置等の機器の導入（再掲） 2台 ②日本酒産業向けのセミナー等の開催（再掲） 4回 参加者 53人</p> <p>【酒米の生産拡大】 ③酒米（酒造用かけ米）への転作に対する上乗せ助成面積 19.5 ha</p>
<p>地域商業活性化への支援</p> <p>【産業政策課】 ①②</p> <p>【産業振興課】 ③</p>	<p>商業振興費 (10,482) 8,755</p> <p>①②</p>	<p>商店街をはじめとした地域商業の活性化を推進するため、商店街等が実施するハード整備やソフト事業、起業による新規出店を支援するとともに、地域商業活性化を担う人材を育成した。</p> <p>これにより、地域商業の活性化が図られた。</p> <p>①地域商業活性化に向けた新規出店等の支援 44件 ②商店街人材育成セミナー 令和4年8月 ③商工業振興資金起業家支援融資の利用(商業)(再掲) 106件</p>
<p>郷土食等による地域の活性化・観光振興</p> <p>【県民生活安全課】 ①②</p>	<p>消費者行政費 (1,909) 1,597</p> <p>①②</p>	<p>食による地域の活性化や観光振興を図るため、食の伝承マイスターの認証や「やまなしの食」のデータベース化などにより、県産食材を使った郷土食等を継承する取り組みを進めるとともに、広く魅力を発信することで、食による地域の活性化に向けた取り組みを進めた。</p> <p>これにより、やまなしの食や食文化に対する関心が高まり、「食」による地域の活性化や観光振興に寄与した。</p> <p>① 郷土食料理教室の開催 2回 ② 「やまなしの食」データベースの作成 23件</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>豊かな食材を活用した食のブランドの確立</p> <p>【観光振興課】 ①②③④⑤⑥</p>	<p>企画総務費 (24,505) 23,735</p> <p>①②③④⑤⑥</p>	<p>食の魅力による誘客や観光産業の収益力向上を図るため、本県の豊かな食材を活用した新たな料理スタイルの創造や飲食関係団体の支援などを行った。</p> <p>また、県産食材を活用した料理と県産酒とのペアリングによる本県的美食の魅力をSNS等を活用して発信した。</p> <p>これにより、食のブランド確立に寄与した。</p> <p>①創作料理発表イベントの開催 令和4年4月 参加者40人</p> <p>②「やまなし美食ウィーク」の開催 令和4年4月～令和4年5月 県内29店舗参加</p> <p>③やまなし美食コンソーシアムの開催 令和4年10月</p> <p>④やまなし美食セミナーの開催 令和4年10月 参加者56人</p> <p>⑤やまなし美酒美食フルコースイベントの開催(北杜市、富士河口湖町) 令和4年11月</p> <p>⑥やまなし美食ウィーク美酒美食巡りの開催 令和5年1月～令和5年2月 県内23店舗参加</p>
<p>史跡甲府城跡の適切な継承と中心市街地の活性化</p> <p>【文化振興・文化財課】 ①</p> <p>【景観まちづくり室】 ②</p> <p>【産業政策課】</p>	<p>文化財保護費 (111,261) 44,212</p> <p>[65,892]</p> <p>①</p> <p>土木総務費 (7,517) 4,205</p> <p>[3,312]</p> <p>②</p> <p>公園費 (106,398) 91,084</p> <p>[14,955]</p> <p>②</p>	<p>郷土への誇りや愛着を深め、史跡甲府城跡の本来の姿を明らかにし、次代へ着実に継承しつつ、更なる活用を推進するとともに、中心市街地の賑わいの創出や活性化を図るため、甲府城周辺整備を進めた。</p> <p>これにより、甲府中心市街地の活性化に寄与した。</p> <p>①愛宕山石切場跡の環境整備及び整備に向けた事業用地取得・物件補償 2件</p> <p>②都市公園整備に向けた基本設計・発掘調査 1式</p>